東 京 稚 内 会　概 要

２０１９年12月10日　更新

１．目　的

東京稚内会は、東京およびその近郊に在住している稚内出身者を中心に、一時的でも稚内に在籍・在住のあった人たちが、お互いの親睦と交流を図り、故郷稚内を想う会です。併せて、稚内の発展に協力することを目的としています。

２．活　動

1）親睦会（総会）

今年（２０１９年）で６７回目を迎え、年に一度、５月の第４土曜日に、東京稚内会の親睦会（総会）が盛会に行われています。

市長はじめ市議会議長や地元産業界の方々をお招きし、１２０～１５０名の会員が久しぶりの再会を喜び、美味しい料理を楽しみながら、歓談にひとときを過ごしています。

また、市長からは稚内の近況を話していただき、稚内から来てくださった方々を囲んで、故郷稚内に想いを馳せるひとときでもあります。

会の最後に、稚内の特産品を中心にした抽選会で、出席者全員に故郷の味をお裾分けしています。

工藤市長挨拶

2）二次会

久しぶりの再会ですから、親睦会だけでは名残尽きません。大勢の人たちが二次会に加わって、故郷の想い出に花を咲かせて交わりの輪が広がっています。

3）納涼会

不定期ですが、真夏の午後、暑気払いを兼ねて、役員会が中心になって会員有志で納涼会を行っています。

3．会　員

本会の会員は、東京およびその近郊に在住している稚内出身者を中心に、一時的でも稚内に在籍・在住のあった人であれば、どなたでも会員になれます。

２０１９年現在、登録会員約８００名、正会員（案内送付）約４００名。

4．組　織

本会の運営は常設の役員会が企画・推進し、年に一回の親睦会をもって本会の総会としています。

5．会費・運営経費

会費はありません。運営経費は親睦会の参加費と寄付金などで賄っています。

6．沿　革

・１９５２年（昭和２７年）頃、稚内出身有志の集いが、東京稚内会の始まり。
（初代の西岡市長時代、北洋漁業が再開した年）

・１９５５年（昭和３０年）、東京稚内会の初代会長：河合三郎

・１９５９年（昭和３４年）頃から、東京稚内会の組織も定まって、市長上京の度に会合を持つなど活動が活発。
（浜森市長時代、北洋漁業の最盛期、大学進学に多くの学生が上京）

・１９８２年（昭和５２年）、東京稚内会の会則を制定。
会長：河合三郎
顧問：浜森市長
（昭和５３年市制３０年、開港３０年、開基百年記念塔完成）

・１９９７年（平成　９年)、会長：本橋浩一

・２００７年（平成１９年)、会長：鈴木啓三、　副会長：櫻田嘉一郎、谷口　丞

・２００８年（平成２０年)、稚内の子供たちにアニメカレンダーを送り続けて
くださった本橋前会長に、稚内市より感謝の記念品贈呈。

・市制６０年に当たり、稚内市から本会に記念盾贈呈。

・市制６０年記念行事に、鈴木会長と会員５６名が故郷稚内を訪問。

市制６０年記念事業・ふるさと訪問

・２００９年（平成２１年)、東京稚内会の会則を改正。
会長：小坂輝雄、　副会長：加藤誠一、濱森憲一、東出　甫
顧問：横田市長
相談役：鈴木啓三、櫻田嘉一郎、谷口　丞

・２０１１年（平成２３年)、稚内市長交代に伴い、顧問に工藤市長。

・第２回ふるさと訪問を実施。小坂会長はじめ５４名が稚内を訪問。

・２０１２年（平成２４年)、第６０回を祝い、盛会。

・２０１３年（平成２５年)

・第３回ふるさと訪問を実施。小坂会長はじめ２５名が稚内を訪問。

・第１回望郷の地・サハリン訪問を実施。小坂会長はじめ９名。

・第１回地元３高校合同同窓会を実施。出席者４３名。

・２０１４年（平成２６年)

・第１回「ふるさと・子ども夢プロジェクト」を実施。前会長の鈴木啓三先生に講師をお願いして、稚内高校・稚内大谷高校・稚内中学

校で「学生とスポーツ」の演題で講話し、生徒と交流。

鈴木啓三先生講話

・第２回稚内合同同窓会を実施。出席者３８名。

工藤市長を囲んで

・２０１５年（平成２７年）

・第２回「ふるさと・子ども夢プロジェクト」を実施。当会員で東京都市大学名誉教授の徳田正満先生が、稚内高校・稚内大谷高校・稚内中学校・稚内南中学校で「光ファイバの開発から世界へ」の演題で講話し、生徒と交流。

・第３回稚内合同同窓会を実施。出席者４４名。

・国立代々木競技場で行われた第４６回全国ミニバスケットボール大会に、全道代表で稚内アルピナミニバスケット少年団が初出場。

当会の応援団が、故郷の子どもたちの活躍に大声援。（３月）
試合後、健闘した子どもたちと親たちと一緒に焼き肉パーティー。

稚内アルピナ、富山代表チームに圧勝

・２０１６年（平成２８年）

・第２８回北海道フェアｉｎ代々木／北海道ふるさと会連合会第２２回産直フェアに、稚内市と協同初出店。９月２９日（木）～１０月２日（日）の４日間。来場総数約４０万人。

賑わいの稚内テント

・第３回「ふるさと・子ども夢プロジェクト」を実施。当会員で北海道大学名誉教授の服部昭仁先生が、稚内高校・稚内大谷高校・稚内中学校で「私の歩んだ道－稚内高校卒業から半世紀、今再び稚内の地で－」の演題で講話し、生徒と交流。

・第４回稚内合同同窓会を実施。出席者３６名。

・２０１７年（平成２９年）

・第２９回北海道フェアｉｎ代々木／北海道ふるさと会連合会第２３回産直フェアに、稚内市と協同出店。９月２８日（木）～１０月１日（日）の４日間。来場総数約４１万人。

・第４回ふるさと訪問を実施。小坂会長はじめ５３名が稚内を訪問。

第４回ふるさと訪問

・第５回稚内合同同窓会を稚内で実施。出席者５８名。

・２０１８年（平成３０年）

・第３０回北海道フェアｉｎ代々木／北海道ふるさと会連合会第２４回産直フェアに、稚内市と協同出店。１０月５日（金）～１０月８日（月）の４日間。来場総数約４８万人。

・第４回「ふるさと・子ども夢プロジェクト」を実施。当会員で北海道大学特任教授の佐々木利和先生が、稚内高校・稚内大谷高校・稚内中学校で「北海道におけるアイヌの歴史－稚内の思い出と共に－」の演題で講話し、生徒と交流。

・第６回稚内合同同窓会を実施。出席者３８名。

・２０１９年（平成３１年・令和元年）

・第３１回北海道フェアｉｎ代々木／北海道ふるさと会連合会第２５回産直フェアに、稚内市と協同出店。１０月３日（木）～１０月６日（日）の４日間。雨模様の中、来場総数約３４万人。

・第５回「ふるさと・子ども夢プロジェクト」を実施。当会員で大手総合商社・双日株式会社の谷口真一氏（前副社長・現顧問）が、稚内高校・稚内大谷高校・稚内南中学校で「明日を信じて道を拓く－新聞配達をして大学へ」の演題で講話し、生徒と交流。同時に、稚内信用金庫主催の経営塾で講演。

谷口真一氏、稚内信金経営塾で講演

◎東京稚内会事務局

〒１０５－００１４　東京都港区芝２－３－３　芝二丁目大門ビル

アルパテック株式会社内

電話　０３－５４４３－２４４８　　ＦＡＸ　０３－５４４３－２４４７